

四国の風景街道通信

2011.3

四国風景街道協議会

【平成22年度 四国風景街道交流会】

in源平ロマン街道 & むれ源平石あかりロード を開催しました

●とき 2011.2.26(土) ●ところ 高松市内

概要

今回の交流会は、四国内で活動されているパートナーシップの方々及び行政関係者、また島根県より2名の参加を頂き総勢45名にて開催しました。

交流会は以下の3部構成にて行いました。

- ・1部 現場見学 源平ロマン街道、むれ源平石あかりロードを見学
- ・2部 事例紹介 中国地方及び地元パートナーシップより事例紹介
- ・3部 グループ討議 「資金調達」「人材確保」「広報活動」について討議



開会の様子

現場見学

現場見学は、見学ルートである源平ロマン街道・むれ源平石あかりロードの方々の協力を得て、当該ルートのコンセプトである「地域資源を生かした原風景」を実際に見て廻りました。

瀬戸内海国立公園の眺望を屋島から見下ろしたり、源平合戦にゆかりのある史跡、地域の特産である庵治石を利用した「石あかり」を始めとした数々の石彫作品、恋人の聖地100選にも選ばれた「城岬公園」、「世界の中心で愛を叫ぶ」の映画の舞台になった純愛の聖地 庵治・観光交流館などの見所をパートナーシップの方々による説明を聞きながら、見学を行いました。

現地および移動バスの中での説明にあたっては、地元のパートナーシップの方々から当該ルートで抱えている課題や取り組み、地域の特色の生かし方などを盛り込んだ非常に分かり易いガイドをして頂き、参加者からも好評でした。



出典：源平の里ポータルサイト
(<http://www.e-yashima.jp>)



屋島ドライブウェイから望む五剣山



映画の舞台となった純愛の聖地 庵治・観光交流館



石あかり



移動バス内の説明風景



駒立岩



城岬公園の純愛ロード

事例紹介

人間文化の原風景～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路～
活動報告
湖水街道推進会議

島根県・鳥取県にまたがる広大なエリアにおいて活動をされている、湖水街道推進会議の副座長である勝部祐治氏より、四国以外において活動をされている方の貴重な意見を聞くことが出来ました。出雲地方に伝わる神話を彷彿とする景観、これまでの歴史や文化の魅力、美しい景観を生かしたイベントなど実際に活動をされている方の生の声による紹介をして頂きました。地域の人々や行政機関との連携による活動例の紹介や地域の祭事との連携による観光客へのPRなど成功例に加え、今後の課題やその対応案など非常に参考となる意見を聞くことが出来ました。



勝部副座長

光とあかりのあふれる魅力の地 源平の里
源平屋島地域運営協議会・むれ源平まちづくり協議会

現場見学においても案内・説明をして頂いた、むれ源平まちづくり協議会の会長である新谷稔氏により、地元の財産である史跡と世界に誇れる石文化とを融合させた結果生まれた『石あかりロード』や、芸術文化施設を中心として行政と一体となつての取り組み、地域の共通する食であるカキなど地域で個々に活動していた内容をエリアとして一体でPRするなど、



新谷会長

見学させて頂いた現場に至る経過などについて紹介をして頂きました。その他には、道の駅との連携によるイベントの開催や新商品の開発などの事例についても紹介をして頂きました。

グループ討議

グループ討議では参加者が所属や年齢などに関係なく3つのグループに分かれ、各グループに討議内容を割り当て、そのテーマに沿ってポストイット(付箋紙)を用いて討議を行い、各グループの代表者により討議結果の発表を行いました。

各グループの討議内容は、平成21年度における活動に対するアンケート結果から課題となっている上位3題の、資金調達、人材確保、広報活動として、現在の問題点と今後の取り組みについて話し合いました。

皆さんが日頃直面している課題に関する討議であったため、様々な意見が積極的に出され、取りまとめる時間が足りないくらい熱心に討論が行われていました。互いに意見を出し合うことで交流を深め、意識の向上にも繋がる有意義な討議でした。



グループ討議の様子

◆ グループ討議結果 ◆

【資金調達について】

■困っていること

- ・利用可能な交付金・助成金の制度と仕組みがわからない
- ・民間企業との連携が不十分で協賛金が集まりにくい
- ・広告掲載に頼りすぎている
- ・会費の設定・集金方法が確立されていない

■提案など

- ・地元の理解と協力の確保
- ・収入となりうる事業の検討
- ・公的資金(交付金、助成金、基金)の仕組み及び内容の確認と理解
- ・運営費の削減による資金の確保



【人材確保について】

■困っていること

- ・世代交代がうまくいかない
- ・若者および女性が少ない
- ・広報および財務関係等の専門知識を有した者が居ない
- ・コアメンバーが偏り、新たな方が参加しにくい雰囲気がある

■提案など

- ・世代交代のルール作り
- ・地域の学校との連携・協力を行い、総合学習の一環で活動に参加してもらう
- ・各団体が集って出来る(魅力ある)企画作り
- ・広報の強化、風景街道のブランド化



【広報活動について】

■困っていること

- ・必要な資金の確保
- ・利用可能なツールは何か
- ・手法としてどのような形が望ましいか

■提案など

- ・地域交通(バス・タクシー)との連携(ラッピングバスやチャリンの設置)
- ・八十八箇所巡りとの連携
- ・イベント時に記者発表を行う
- ・官民との連携・協力体制作り
- ・統一したロゴやカラーを作る(風景街道とそれ以外の差別化)
- ・新聞社などマスコミをPSIに取り込む
- ・アピールするための拠点づくり
- ・とにかく楽しんで広報活動を行う



おわりに

本交流会において、参加者の方々が真剣に事例紹介を聞いたり熱のこもったグループ討議を行っている様子を拝見し、大変な熱意を感じました。われわれ事務局としましても、今後の参考となる有意義な交流会となりました。今後も各パートナーシップの方々の交流を深める場を設けていきますので、またのご参加をよろしくお願いいたします。

この度は週末の開催で遠方にも関わらず多数の方に御参加頂いたこと御礼申し上げます。

併せて、源平屋島地域運営協議会・むれ源平まちづくり協議会・湖水街道推進会議の方々、御協力有り難う御座いました。

お問い合わせ

●四国風景街道協議会

国土交通省 四国地方整備局 道路部 地域道路課内

●TEL087-811-8323

●FAX087-811-8421

●mail shikoku-fukeikaido@skr.mlit.go.jp